

第6回教育振興基本計画（後期計画）素案（案）に係る議員説明会

意見一覧

●基本的な方針について（本編P3）

- ①「未来を拓く人づくり 子どもの教育」で、自己肯定感をもつ子ども、自分を褒めてあげられる子どもというあたりが、後のページにはそういった文言があるものの、「自立心を育む人づくり」の基本的なところがないことが気になる。
- ②目指す子ども像の3つめ「自分と家族、他者（ひと）を大切にできる、思いやりのある子ども」に「お互いを認め合う」というところが抜けている。
- ③目指す子ども像5つめの「故郷まつばらを誇れる子ども」について、誇れるような施策をつくるということは行政の責任であり、子ども側の責任ではないので、子ども像のところでこういう言葉が出てくるのはおかしいのではないか。
- ④社会教育にも「故郷まつばらを愛する人」とあるが、「自立心を育む」とは同じくくりには入らないのではないか。

●トイレの整備率（指標C-1）について（本編P18、資料編P21）

- ⑤「整備」だけでは、洋式にした数なのか、何なのかが分からない。
- ⑥なぜ洋式化の数値にしないのか。和式をきれいにするというよりも洋式化を進めていっている中で、高い数字にはなっているが、今の時世を考えると検討に値しないのではないか。

●防災教育などについて（本編P15-17）

- ⑦大阪府の計画では、災害時に対する災害時に対する子どものたちの行動の仕方とか、防災教育も含めて、子どもたちにそれに対応できる能力を身に付けるような教育をするなどが記載されている。また、重点取り組みの一つとして災害時に迅速に対応するための備えの充実という大きい項目がある。もちろんこの中に耐震化の推進もあるが、災害時への事前の備えに向けた危機管理体制の確立ということで、学校における避難計画、マニュアル、担当教員を明確化するとか、体制をそれぞれの学校でつくるということも、取り組みとして書いている。それから、「児童・生徒が自らの命を守り抜く力を高める取り組みの推進」ということで、防災教育、色んな指導、この中に避難訓練をしていくと、そしてその方法をきちんと決めていくと書いている。学校の先生と生徒は、防災意識を高めて対応できる能力をつけなければいけないと思うので、基本的な方針2の重点目標（1）にあたると思うが、（1）-3として大きく入れるのか、（1）-2の中の取り組みの①から⑧に追加するのか分からないが、追加する必要があるのではないか。

●エアコンについて（本編P15-17）

- ⑧前回の資料の43ページにはエアコンのことについて記載されていたが、無くなっているのはおかしいのではないか。「すべてのクラスが」と書いていたのに、すべての教室・クラスに付いているわけではない。議会でも「すべてではない」と答弁しているはず。すべて終わっていないのに、抜

いてはいけないのではないか。

⑨エアコンの件について、目標値を100%にした場合、どういう状態が100%で、今何%なのか。

●安全管理人の配置について（本編P15-17）

⑩各小学校の校門のところに、登下校時、安全管理人さんがおいでになるが、その記載はないのか。

⑪（P17の⑥に記載していることを踏まえ）書いているからいいものの、重要な部分としての位置づけはあってもいいのではないか。

●主な取組み④人権尊重の教育の徹底について（本編P11）

⑫「性的マイノリティ」の問題について、教育委員会は色々やっているにも関わらず、人権問題の所には入っていない。

⑬「同和問題をはじめ」ではなく、並列して同じ人権問題の取組みとしたほうが良いのでは。

●外国籍の子ども・人への対応について（本編P11、P12）

⑭学校現場で外国籍の子どもが増えているという現状を踏まえ、日本語教育や日本語指導というところを入れるべきではないか。また、それを入れるのであれば、後半の社会教育のところでも識字の問題や日本語教室の問題などを入れる必要があるのでは。

●主な取組み③学校における「働き方改革」の推進について（本編P20）

⑮なお一層の業務の見直しや中学校のクラブ指導の問題は、働き方改革との関係では欠かすことができないのではないか。

●子ども110番の家に係る登録件数（指標E-2、指標G-3）について（本編P23）

⑯「1800件」という目標値で良いのか。根拠はあるのか。低い目標ではないか。

⑰現状値の1770件が実態ではないのではないかと（登録していても役割を果たせていない家もある）。

⑱以前「抑止力としての役割も期待している」と言われたが、そうであれば全てに掛けるくらいの目標値であるべき。実効性を期待するのであれば、出掛ける時は看板を外して欲しいというような呼びかけをするべきで、趣旨に一貫性が無い。

⑲犯罪の種類も増えているので、抑止力を期待するのではなく、実効性を上げていかないといけないのでは。この辺りを改めていく必要があると思う。

●主な取組み④「新図書館によるサービスの拡充」について（本編P28）

⑳「新図書館」なのであれば「拡充」はおかしい。「図書館によるサービスの拡充」なら分かるが。

㉑「運営していきます」となっているが、これは指定管理者が運営しているので、日本語としておかしいのではないか。

●成果指標、目標値の設定について （目標数値の算出方法について）

- ②未達成の項目について、同じ目標を後期でも追うにあたって、前期とは違う取り組みが必要になるのではないかと思う。全てにおいて、目標達成度に応じて後期の取り組み方法をどう変えたのか、課題をどう書いたのかなど、分かりやすく説明してもらえたら納得できるのではないかと思う。
- ③目標値の算出に関しては、計算式も資料の中に入れて、読み物的に考察できるようなことが保護者にとってもプラスになるのではないか。
- ④目標値の数字の根拠をしめしているペーパーを配布して欲しい。目標値を算出した根拠を知りたい。
- ⑤目標値の算出根拠が明確になっていないと、「達成」「未達成」といったところで意味が無い。
- ⑥成果指標について、どの水準にしていくのかは委員や議員の皆さんも含めて納得できる目標設定にする必要がある。なぜこの水準をめざしているのかという根拠はあきらかにして、説明をしていただく必要があると思う。他市の目標値の設定の仕方なども参考にして、説明をしてほしい。
- ⑦目標値の算出になった根拠は明記する、広く開示するという認識で良いか。

(目標数値について)

- ⑧目標値について、全国平均を掲げているが、それは正しいのか。平均はあやふやなものであると思う。
- ⑨全国平均や大阪府平均を目標にすることの志の低さは前回も指摘をしたはず。
- ⑩目標値に具体性、妥当性がない。(例えば「市主催研修が充実していたと考える参加者の割合」の目標値が100%で、なぜ「読書が好きな児童・生徒の割合」の目標値が100%ではないのか)
- ⑪目標値についての具体性、もしくはそれを達成しようという意気込み、これが全く感じられないという指摘が出たということ策定委員会でかけて欲しい。
- ⑫目標を掲げる時には、現場とコンセンサスがとれているかどうかが大変重要。数字で遊ぶのではなく、現場と目標を定めるために時間をつくってこそ、計画をつくることに意義が初めてでてくるとい認識を改めていただかないと何回作っても同じ。

●パブリックコメント、スケジュールなどについて

- ⑬教育大綱では「教育、学術および文化の振興にかかわるすべての教員および職員は遵守しなければなりません」となっているが、「教育、学術及び文化の振興に関わる全ての教員および職員」というのはどこまで入るのか。イメージしている「すべての教員および職員」に配布をして読ませたうえで、これについて意見をきくことが生きたパブリックコメントである。批判だけではなく賛同する意見があってもいいので、必ず業務としてこれを読んで、読んだうえでこれに対する意見を寄せてもらいたい。
- ⑭ペーパーレスでできるわけだから、すぐにやってほしい。
- ⑮全職員にこれを配布して、必ず全職員から意見を徴収すべきだという意見が議員から出たということ、策定委員会で諮ってほしい。
- ⑯策定委員会の日数は足りるのか、頻度を上げないと時間が足りないのでは。